

# 進路実現のために

## 1 進路実現は自己実現

高校時代は“将来をどのように生きるか”ということ、否応なしに問いかける時代です。この問題を解決するために、夢を見て、考えて、自分を知り、情報を手に入れ、行動していく。これらすべての取り組みのことを「進路活動」といいます。

そしてその目標に進み、生活していくことを「進路実現」といいます。高校生までとは違った新しい生活を、多くの方々の理解と支援を受けながら、自らの意志と自らの行動で実現していくのです。

この進路実現とは、現時点での自分には成しえない事柄をやり遂げ、手にするのですから、そのための取り組みである進路活動は“現時点の自分から脱皮して、より向上させ、新しい自分と生まれ変わる努力”によって成り立つべきものなのです。このような、より良く生きようとするあり方や力を身につけることを「自己実現」といいます。

つきつめて考えれば、「進路実現とは、自己実現によって得られるもの」といえます。

## 2 進路学習

先に述べたように、進路について学習することは「どう生きるか」という生き方の学習です。それは、“将来の生き方”でもあり、当然“現在の生き方”に通じるものです。自分はどうか、どんな高校生活を送るか、そのためにどう考えるか、どう取り組むのか。進路に関する学習や活動を通じてその答えを手にしてほしいと思います。

## 3 進路について考えること

まず、「職業に就く」ということについて考えてください。我々はなぜ仕事をするのか。決して「皆がやるから」ではないと思います。「働く」ことに対して皆さん個人個人の理由や考えがあるはずです。人生とはあらゆる意味で「働くことで新たな価値を生み出す」ことをしていくものです。それは社会にとっても、企業にとっても、家庭にとっても、個人にとっても同じです。“なぜ働くのか”“どう働くのか”ということが、進路の出発点です。そこから、目標とすべき職業と働き方を見いだしていきましょう。

次に「その職業は何か」ということ。これには二つの方法で考えます。一つは「なぜ自分はその職業に関心があるのか」という興味の理由。二つには「自分はその職業にあっていいのか」という適性の部分。これらを踏まえて目標になる職業をいくつか具体化することが大事です。

そして「その職業に就くためにはどんな方法があるのか」ということを考えてください。職業によっては実際の技術がものを言うもの、資格がないとできないものや、専門的な知識を身につけるためには高校だけでは無理なものもあります。

これらの延長として、高校卒業後の「就職希望」「進学希望」という二つのコースが生まれるのです。

## 4 進路実現のために

進路実現（＝目標の道に進み、生活していくこと）のためにどんな事が考えられるか、どんな事が必要か、箇条書きにしておきます。

### ○ 自分を知ろう

自分を知らなければどんなものに向いているのかわからない。長所や短所など周囲の人達からも意見を聞くなどして、自己理解を深めることに努めよう。

### ○ 日常の取り組み

- ・ 言葉遣い・・・自分を的確に表現できる（きちんと大人の会話ができる）こと。
- ・ 外見・・・初対面の相手が持つイメージは出会ったときの服装や振る舞い方です。相手が受ける印象を相手の立場になって考えられる人間になろう。（自分に甘い理屈を作らない）
- ・ 生活・・・社会人としてマナーを磨こう。約束（時間、期限など）は守って当たり前です。
- ・ 社会性・・・集団で生きることを意識しよう。一人で生きることはできません。むしろ周囲の人々と何かしらの関わりを持って生きているのです。“積極的であり、思いやりのある関わり方”を学ぼう。
- ・ 情報・・・世間知らずになってはいませんか？自分に必要な情報をしっかりとらえていますか？（進路資料室を利用して、資料を調べよう）
- ・ 資格・・・高校生の内にとれる資格はかなりある。自分を高めるチャンスの一つととらえてチャレンジしていこう。